

令和四年度

一般選抜問題 二期

国語総合

【試験時間 午前十時～午前十一時】

注意事項

- 一、試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 二、国語総合の問題は一ページから十二ページまであります。
- 三、解答用紙は一枚です。
- 四、試験中に問題冊子および解答用紙の印刷不鮮明、落丁（ページの脱落・乱丁（ページの乱れ））に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 五、問題冊子の余白等は自由に利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
- 六、試験時間は六十分です。
- 七、受験番号と氏名は、解答用紙の指定された欄に記入しなさい。
- 八、解答は、すべて解答用紙の指定された欄に記入しなさい。
- 九、必要以外のことを解答用紙に書いてはいけません。
- 十、問題冊子は持ち帰りなさい。

次の文章は、森博嗣『勉強の価値』の一部分である（ただし、少し書き換えた）。読んで後の設問に答えなさい。

（五十点）

黒い縦線による文章の隠蔽。①、②、Aのマークは設問の指示を示している。

八

③

D

□

C

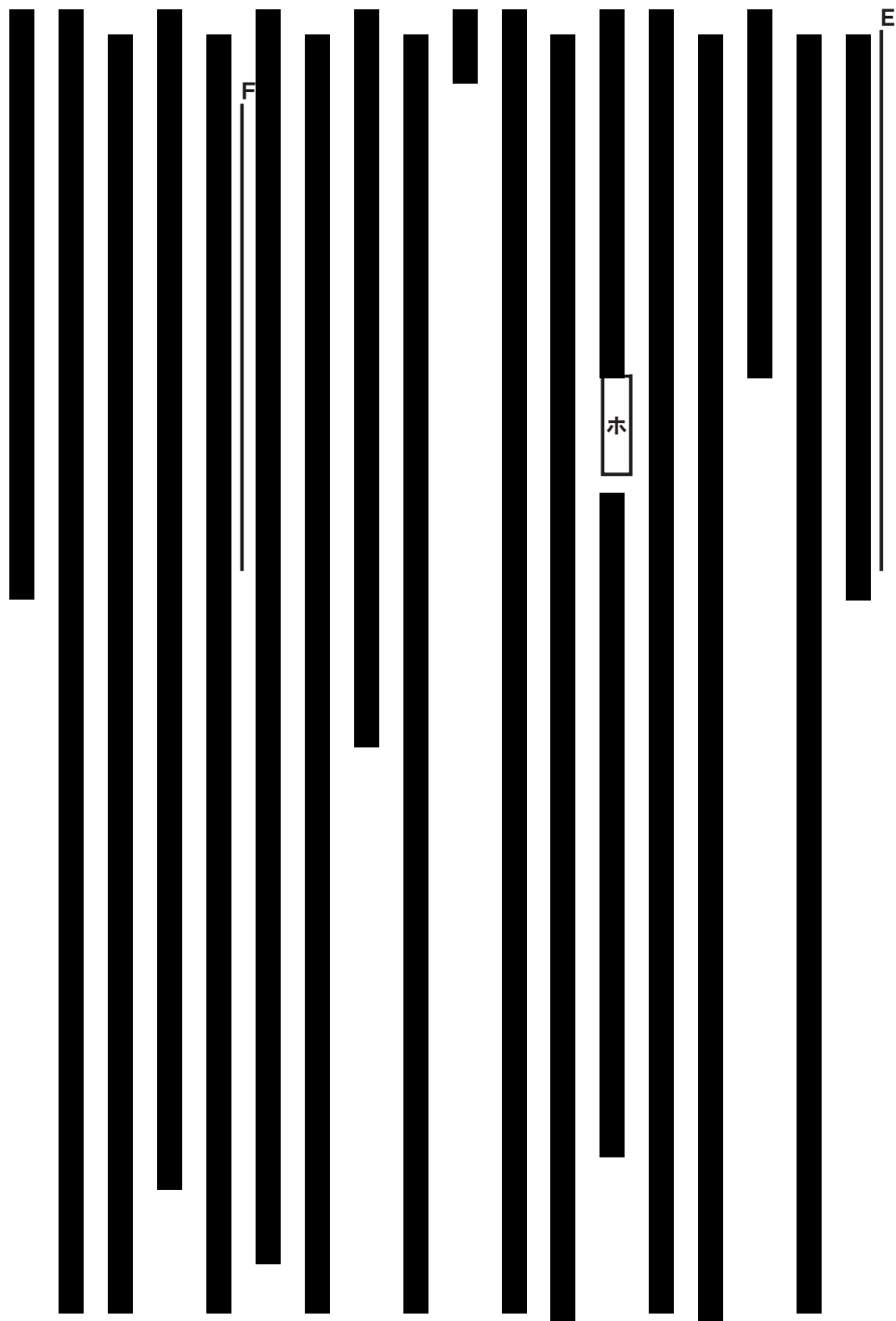
B

[REDACTED]

④

—

(森博嗣『勉強の価値』より)



問一 傍線部①～④について、カタカナは漢字に直し、漢字はその読みをひらがなで書きなさい。

問二 空欄 **イ** ～ **ホ** にあてはまる語句を次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい（ただし、使用は一度のみ）。

- a だから b つまり c とにかく d たとえば e また

問三 傍線部 A について、本文の内容に基づいて次

のようにまとめた。空欄 **①** ～ **⑥** にあてはまる言葉を次から選んで記号を書きなさい（同じ言葉を何度選んでもよい）。また、空欄 **I** ～ **III** には、本文からあてはまる言葉を抜き出して入れなさい（同じ番号には同じ言葉が入る）。

- a 思う b 気づく

① とは、外部からの入力に対する反応であり、**I** に近い。また、**②** は、頭の中である概念を思い浮かべるような感覚である。それに関して **II** ということは、思い浮かべた像に加工したり、観察したりすることである。この両者を合わせると **III** という行為になる。この過程で、突然別のところから浮かび上がってくるものがあり、これを **③** と表現している。**④** とは反応で、**II** は **⑤** だけでなく、既にある情報から、自分の「思い」を展開することである。これに対し、**⑥** ためには、予期せぬところから湧き上がってくる別の「思い」との関連付けをさせるために、その素地となるデータを用意している必要がある。

問四 傍線部 B であるが、

これに該当すると考えられるものはどれか。次の中から二つ選び記号で答えなさい。

a 感染症への対策として食事の時に他者との接触を軽減する必要性から、各テーブルにアクリル板の設置を提案すること。

b 浴槽に浸かった際に湯が溢れたことから、液体中にある物体は、その物体が押しつけた液体の重さに等しい浮力を受けるという法則に気づくこと。

c 少子高齢化社会への対策として、高齢者への介護制度を充実させるとともに、子育て世代の経済的負担を減らすための対策も考えること。

d 教員が自分の担当しているクラスの生徒の様子を詳細に観察し、遅刻や居眠りの多い生徒が家庭環境に問題があることに気づくこと。

e リンゴの木からリンゴが落ちるところを見て、地上において物体は地球に引き寄せられ、さらにこの法則が宇宙にも応用できることに気づくこと。

問五 傍線部 **C** とあるが、これは具体的に何を指すか。本文中から二十一字で抜き出して書きなさい（句読点も一字に数える）。

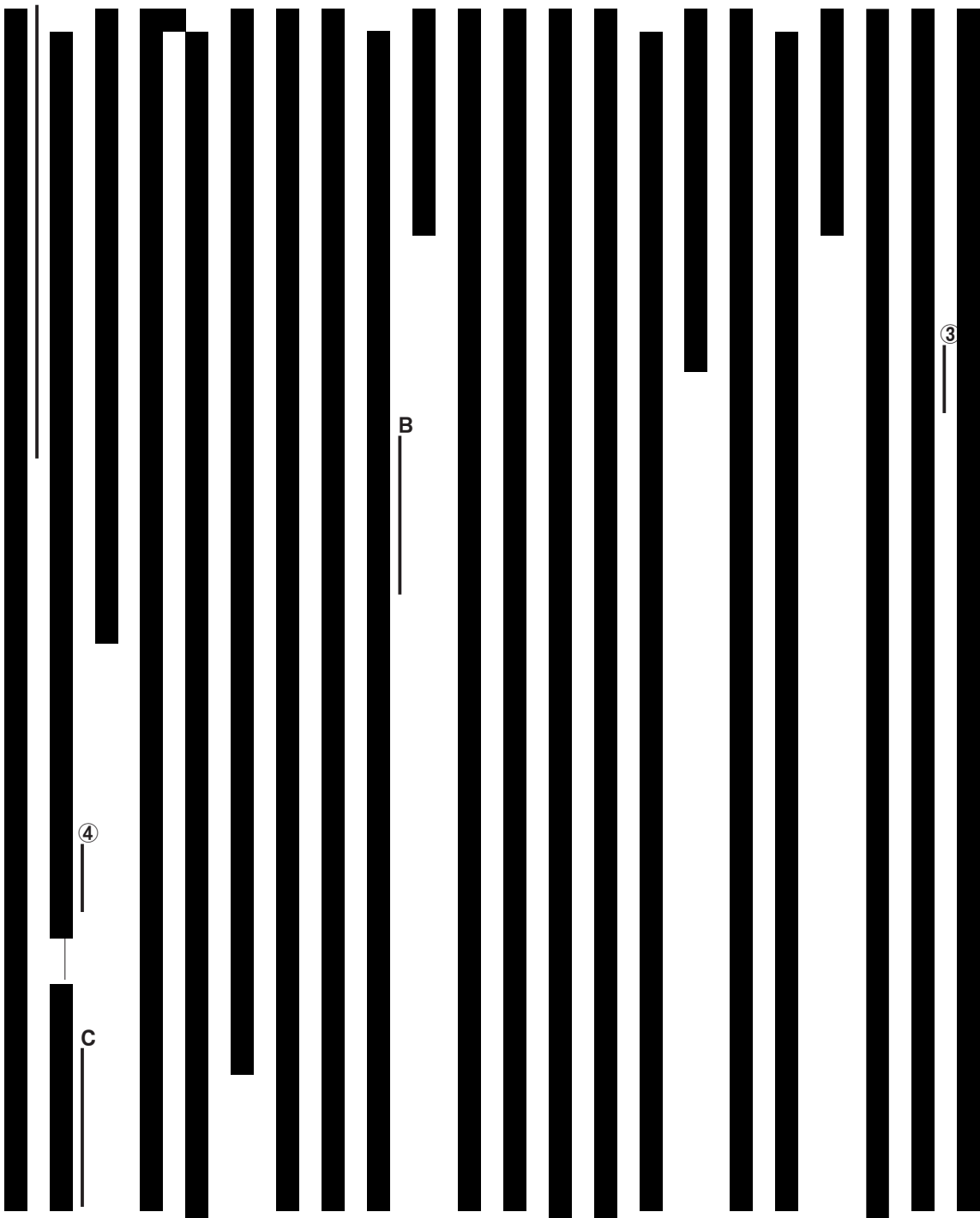
問六 傍線部 **D** とあるが、筆者は誰がやることと考えていると思われるか。本文中から九字で抜き出して書きなさい（句読点も一字に数える）。

問七 傍線部 **E** とあるが、これは具体的にどういふことか。本文中の言葉を用いて百三十五字以内で説明しなさい（句読点も一字に数える）。

問八 傍線部 **F** とあるが、これは具体的にどういふことか。本文中の言葉を用いて百二十五字以内で説明しなさい（句読点も一字に数える）。

二 次の文章は、品川哲彦『倫理学入門―アリストテレスから生殖技術、AIまで』の一部分である（ただし、少し書き換えた）。読んで後の設問に答えなさい。（五十点）

[Redacted text block containing vertical bars and markers ①, ②, A, and a box with a square symbol]



[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

(品川哲彦『倫理学入門―アリストテレスから生殖技術、AIまで』より)

問一 傍線部①～④について、カタカナは漢字に直し、漢字はその読みをひらがなで書きなさい。

問二 空欄 にあてはまる語句を次の中から一つずつ選び、記号で答えなさい(ただし、使用

は一度のみ)。

- a とはいえ
- b むろん
- c いいかえれば
- d それゆえ

問三 傍線部 **A** とはどのようなことか。解答欄の「〜こと」につながる形で、本文中から二十七字

で抜き出して書きなさい（句読点も一字に数える）。

問四 傍線部 **B** の考えとして、適切ではないものはどれか。次の中から二つ選び、記号で答えなさい。

- a 共感とは、そのときその場所で苦しんでいる特定のひとに向けられるものである。
- b 共感するには、相手と同じ気持ちになる必要がある。
- c 感情は、人類や人間一般を対象として働くことはない。
- d 知識は我々に生得的に備わっている。
- e 普遍的な概念は経験から作られる。

問五 傍線部 **C** とあるが、大型類人猿と人間の違いは

何か。本文中の言葉を用いて六十字以内で説明しなさい（句読点も一字に数える）。

問六 本文中の内容と一致するものを次の中から二つ選び、記号で答えなさい。

- a 筆者は、利他的な行為に進みやすい舞台が整えば、人間本来の理性により世界を把握することができると考えている。
- b ヒュームは、感情が行為の目的を設定すると考え、倫理的判断を感情に関連づけて説明している。
- c カントは、行為の目的を達成するための手段を提示するのは理性であると考えている。
- d 筆者は、共感が素質としてそなわっていれば、個々の人間が倫理的なるまいをするようになると考えている。
- e ヒュームは、倫理学が成り立つ基盤は自然の中に存していると考えている。

問七

左の図は「ヒュームの共感理論」をまとめたものである。空欄 ① ～ ④ にあてはまる語句を本文から抜き出して書きなさい(同じ番号には同じ言葉が入る。また、番号の下の数字は抜き出す語句の字数を示す)。

